



# ことしば

7月号



【チャレンジ目標】『にこにこあいさつ ふわふわ言葉 しっかり運動 いっぱい読書』



ハイビスカス

## コロナ対策と熱中症対策 ～ 子ども達の健康を第一に ～

琴芝小の玄関に、地域の方から頂いた一鉢のハイビスカスが綺麗に咲いています。その花を見ると、夏のまぶしい太陽と青い海に囲まれた南の島を想像します。6月21日は夏至。昼の長さが最も長い日でした。また、同時に日本では『部分日食』が見られました。天体ショーをご覧になられたご家庭も多かったのではないのでしょうか。

さて、日本の気候の特色である梅雨、そして夏の暑さは確実に訪れています。コロナ対策と熱中症対策を同時に行わなければなりません。これらの対応は相反する部分もあります。子ども達には、教育委員会からの通知により、下記のとおり指導しておりますので地域やご家庭でもご配慮いただきますようお願いいたします。

### 【コロナ対策】3密（密閉・密集・密接）回避

#### ①換気の徹底

- ・ 2方向（対角線の位置）の窓を常時解放
- ・ 休憩時にはしっかり換気（数分間窓全開）

#### ②身体的距離の確保

- ・ 最低1mの間隔を確保
- ・ 難しい場合は換気やマスクの着用等を併用

#### ③マスクの着用

- ・ 基本的には常時マスクの着用が望ましい

#### ④手洗いの徹底

- ・ 1回30秒程度、水と石けんでこまめに！

### 【熱中症対策】マスクを外してよい場合

- 体育の授業
  - 登下校時
  - 十分な身体的距離が確保できる場合
  - 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合
- ※ 熱中症も命に関わる危険があるため、**熱中症への対応を優先する**

近距離での会話を控える

人との十分な距離をとる等の配慮を

まだ感染リスクがなくなったわけではありません。マスクの着脱について、児童の健康を第一に考え、状況に応じて指導していきたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 第1回学校運営協議会 ～ 学校の新しい生活様式に向けて ～

新型コロナウイルス感染症は完全な終息とはいかないまでも、一定の収束が見られ、全国的に自粛要請が解除されてきています。本校の学校運営協議会も、当初予定を延期して、先日第1回目の会議を開催しました。コミュニティ・スクールとして地域の方とともに子ども達を育てる教育が浸透し、これからは小中一貫教育や宇部市のSDGsとも重ねながら、さらに充実させていかなければならないと思っています。既に、地域探検のボランティア、琴小農園等、可能な活動はスタートしています。今年度はコロナ禍による地域行事や学校行事の中止や変更等のため、例年のような活動はできないかもしれませんが、「学校の新しい生活様式」について、共に考えながら、新しい形の学校運営、学校支援、地域貢献を探っていききたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



校長のつぶやき

### 『はきものをそろえると心もそろう』（脚下照顧）

禅の教えの一つに『脚下照顧』という言葉があります。人のことよりも自分の足下（行動）をみつめなさいという意味です。この教えをもとに藤本幸邦住職が、作られた詩があります。『はきものをそろえる』ことから、思いやり、自省（内省）、礼儀やマナー、整理整頓の習慣化など、たくさんのことが学べそうです。

『はき物を揃えると心も揃う 心が揃うとはき物も揃う 脱ぐときに揃えておくとはくときに心が乱れない 誰かが乱しておいたら黙って揃えておいてあげよう そうすればきっと世界中の人の心も揃うでしょう』